

# 前年度の学校評価

## ア 自己評価結果等

<p>元年度の重点目標</p>	<p>①本校の歴史と伝統に誇りを持つとともに、規律を守る品位・品格ある生徒、行動力と思いやりを備えた将来社会のリーダーとなる生徒を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日々の集団生活を通して、爽やかな返事と自ら挨拶ができるコミュニケーション力の豊かな生徒を育てる。</li> <li>情報モラルや交通モラルの向上を図り、自他の命を大切に思いやりのある生徒を育てる。</li> <li>学校行事、部活動やボランティア活動への積極参加を促し、統率力、協調性、粘り強さ、社会性を備えた人間力豊かな生徒を育てる。</li> </ul> <p>②社会の動向や教育界の動きを視野に入れて、時代に対応した教育活動を展開する。また、国際理解コースの設置をいかし、グローバル社会で活躍する人材育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事の充実、生徒の体験学習を推進し、国際理解教育、平和教育の更なる充実を図る。</li> <li>現職研修の充実をさせて、高大接続改革における新たな大学入学者選抜の研究と指導改善、新学習指導要領の施行に向けたカリキュラム・マネジメントの構築に取り組み、生徒のニーズに応じた教育環境を整備する。</li> <li>「高大連携事業」「知の探究講座」「海外派遣」「出前講座」「現地見学」「インターンシップ」「ジョブシャドウイング」等に積極参加させて、生徒が将来に向けた夢や具体的な目標を掲げ、高い志のもとに大学進学を目指す姿勢を確立する。</li> </ul> <p>③清潔で落ち着いた教育環境、安全・安心な学習支援体制を整備し、心身ともに健康な生徒を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不適応や学習障害を抱える生徒の情報共有に努め、スクールカウンセラーや関係機関との連携を図り、組織的かつ迅速・適切な問題解決に努める。</li> <li>日常の清掃活動を通して高い衛生・環境意識を持たせるとともに、施設を大切に使い感謝の気持ちを行動に表すことができる生徒を育てる。</li> </ul> <p>④日常の業務内容や時間の使い方の改善を通して、効率的・効果的な業務遂行の機運を醸成し、教職員の多忙化解消を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習や部活動における生徒の主体性をいかし、運営方針を遵守した部活動指導を行い、教職員の業務内容にメリハリを持たせる。</li> <li>校務分掌の統合を念頭に、次なる時代に対応した業務の在り方と教職員の組織的な学校運営体制の確立を目指す。</li> </ul>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
<p>広報活動 (総務部)</p>	<p>P T A 活動の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>P T A 理事会における講演会の充実を図る</li> <li>広報活動を通して保護者への情報提供を充実させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理事会の講演では豊橋中央図書館専門員の岩瀬彰利様をお願いした。来年の朝ドラ「エール」に因んだ話で大好評であった。</li> <li>P T A 広報誌も例年通り発行できている。</li> <li>今後はSNSやメールを利用し更なる情報提供の活性化を図りたい。</li> </ul>
<p>学習指導 (教務部)</p>	<p>成績処理システム、生徒指導要録の電子化  新学習指導要領の研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修を通して流れを徹底し、マニュアルの改善をする</li> <li>各教科に対して研究、情報収集を働きかける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修を通して、成績処理システム、生徒指導要録の作業手順を統一することができた。</li> <li>コンピュータの入れ替えに伴い、入力用コンピュータの整備が必要となった。</li> <li>各教科の情報を収集することにより、特色ある新教育課程の編成が急務である。</li> </ul>
<p>読書指導 (図書部)</p>	<p>生徒図書委員会活動をさらに活性化させ、生徒が足を運びたくなる図書館をめざす</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来活動を一層活性化させる</li> <li>生徒図書委員などの要望を踏まえた図書購入に努めるとともに、新着図書の広報活動などを推進し、利用しやすい環境を拡充する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書委員が作成した「みこし草」を定期的に発行し、新着図書などの広報活動を行った。</li> <li>教養講座「学芸員のしごと」や『夢十夜』を課題図書とした読書会を開催し、図書館に足を運ぶ機会を提供した。</li> <li>来館者が特定の生徒に限られ、図書館利用者層の広がりが未だ限定的である。教室と掲示板の利用など更なる広報活動が必要である。</li> </ul>
<p>研修 (研修部)</p>	<p>現職研修の精査と充実 I C T 機器を効果的に利用した授業の研究 国際理解教育の推進と国際理解コースの活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他分掌と連携した現職研修を実施する</li> <li>学習の理解や定着の度合いが高まるようなI C T 機器の活用方法を模索する</li> <li>ニュージーランド語学研修やSDGs等の国際交流事業の充実を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員用P Cの更新に伴い、各教員にタブレット端末が配備された。今後は研修を実施し、授業での効果的な利用を促進する予定である。</li> <li>SDGs プログラムを昨年からさらに発展させ、留学生との交流や発表が効果的になるように活動の内容を精査した。</li> </ul>
<p>生徒指導 (生徒指導部生活担当)</p>	<p>地域社会の一員であることを自覚し、交通及び携帯電話利用のマナーを守る  いじめの未然防止と早期発見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全指導の実施</li> <li>携帯電話利用のルールマナーについての啓発</li> <li>いじめや人権についての意識高揚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全県民運動、交通死亡事故ゼロの日を中心に、学校周辺での交通安全指導を実施している。交差点での一時停止の遵守についてさらに指導していきたい。</li> <li>携帯電話について、不適切な使用が見られたため、当該生徒には適切に指導をし、学年および全校の生徒に注意を喚起した。</li> <li>2度のアンケートの実施と担任面接や日常の観察により、未然防止と早期の発見に努めた。</li> </ul>

項目 (担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
生徒会活動 (生徒指導部 特活担当)	生徒会行事の内容 検討と生徒会活動 の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会行事の内容検討 と綿密な計画</li> <li>生徒会活動の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひがし祭は、限られた準備期間において、クラス企画や ストームなど取り組むことが非常に多い。テーマに沿った 企画を立案させ、協力して取り組ませる指導が必要で ある。</li> </ul>
進路指導 (進路指導部)	キャリア教育を充 実させ、将来への 具体的な目標につ なげる	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミスマッチのない大学 選びに向けた高大連携 事業の定着化</li> <li>ジョブシャドウイング への積極的な参加とe ポートフォリオの蓄積</li> <li>担任による継続的な面 接指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度からの新共通テスト導入について、当初の計画か らの変更が相次いだ。情報を生徒に積極的に流すこと で大きな混乱は避けられた。</li> <li>高大連携事業を進路と学年の連携で滞りなく進めること ができた。</li> <li>ポートフォリオの蓄積は進んできているが、大学入試に どのように反映出来るのかが今後の課題である。</li> </ul>
保健活動 教育相談 (保健環境部)	心と身体の健康保 持増進	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動時におけるけがの 予防と正しい手当て及 び緊急時に適切な行動 がとれる生徒の育成</li> <li>産婦人科医による健康 講話</li> <li>スクールカウンセラー との連携の強化とカウ ンセリングの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動代表生徒にAED講習会を実施し、緊急時に対応 できるように指導した。</li> <li>1年生を対象に正しい運動シューズの選び方と履き方につ いて、全校生徒を対象に熱中症の予防について指導を して、けがと熱中症予防につなげた。</li> <li>1学期前半は怪我が少なかったが、後半より増加した。 予防できる怪我の防止と再発防止について、指導を継続 して行う必要がある。</li> <li>産婦人科医による健康教育講座を実施し、思春期に必要な 運動や栄養、性感染症やSNS被害などについて学び、 将来にわたって実践できるように働きかけた。</li> <li>保健室に来た生徒のうち、必要と思われる生徒にスクー ルカウンセラーとの相談に結びつけた。</li> </ul>
1年学年会	東高生としての自 覚を持たせ、学習 ・部活動・行事に 積極的に取り組む 姿勢を育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立</li> <li>良好な人間関係の育成</li> <li>進路意識の向上</li> <li>学習と部活動の両立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インスタグラムの不正利用など、その危険性や問題点が 認識できていない生徒がいる。今後も継続的な指導が必要 である。</li> <li>進路希望では将来について安易に考えており、安全志向 が色濃く出ている。そのため学習意欲に欠ける生徒が目 立つ。より高い目標への意識付けを学年全体で図りたい。</li> </ul>
2年学年会	規律ある高校生活 を充実させる  計画的な学習と探 究的な思考により 学力の定着を図る  将来の目標を具体 的に定め進路意識 を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶や身だしなみ、時 間の厳守、スマート フォンの利用法を自ら考 え行動できるようにす る</li> <li>行事や部活動に積極的 に参加し主体的に取り 組む姿勢を育む</li> <li>思考を深める適切な課 題を与えて家庭学習を 促すとともに計画的な 家庭学習を定着させる</li> <li>将来の人生設計を適切 に支援し、より高い進 路目標が設定できるよ うに意識を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶や身だしなみについては概ね適切であった。スマー トフォンの利用については、まだまだ自分を律すること ができていない生徒がいる。今後も継続的な指導が必要 である。</li> <li>学校祭や修学旅行などに対する事前指導を段階的に行い、 生徒にとってより良い学びの機会とすることができた</li> <li>生徒全体への課題の内容について精選することができた。 一方、学習面での生徒個々に応じた支援が十分とはいえ なかった。今後も継続的な支援が必要である。</li> <li>総合的な学習の時間やHRを中心に、生徒の進路目標の 設定や実現に向けた支援を継続することができた。</li> </ul>
3年学年会	進路希望の実現  たくましく生きる 生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習時間調査の継 続的な実施</li> <li>面接指導の充実</li> <li>学習指導の充実</li> <li>最高学年としての自覚 の促進</li> <li>自主的行動を促す機会 の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習時間記入用紙を朝、配布し記入させた。全生徒が記 入するように徹底させることが課題である。</li> <li>面接週間以外にも各担当が機会をとらえて面接指導を実 施した。</li> <li>平日授業後、土曜日に自習できる環境を整えた。</li> <li>全校集会を頻繁に開いたり、各担当がHR等を利用して 最高学年としての自覚を促した。</li> <li>文化祭や体育大会の応援等を通じて主体性を育成した。</li> </ul>
職員の健康保持 (衛生委員会)	勤務時間の適正な 管理 教職員の健康障害 防止とメンタルヘ ルス保持	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の適正化と多忙化 解消</li> <li>学校開錠時間及び施錠 時間の遵守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施錠時刻を平日19時半と定め、およそその通り実施 できている。</li> <li>今後は、根本的な業務の適正化や多忙化解消につながる 取組をすすめるとともに、メンタルヘルスの向上にも努 めたい。</li> </ul>
総合評価	生徒は落ち着きと品格のある学校生活を送ることができ、学習面、部活動をはじめ多くの活動に意欲的に取り組むことができた。キャリア教育、国際理解、高大連携、SDGsなどに係る取組も充実させている。加えて生徒会活動やボランティア活動などにも力を入れ、心の教育にも努めることができた。今後さらなる教育活動の充実を図っていきたい。		

イ 学校関係者評価結果等

<p>学校関係者評価を実施した 主な評価項目</p>	<p>① 高大接続改革における新たな大学入学者選抜の研究と指導改善、新学習指導要領の施行に向けたカリキュラム・マネジメントの構築 ② 情報モラルや交通モラルの向上を図り、自他の命を大切にする心の教育の充実 ③ 部活動運営方針の周知徹底と効率的な部活動指導 ④ 効率的・効果的な業務遂行の機運の醸成と教職員の多忙化解消、ならびに教職員の健康障害防止とメンタルヘルスの向上</p>
<p>自己評価結果について</p>	<p>① 授業公開、評価アンケートとも充実できた。 ② 毎朝の立番指導など、交通安全教育に力を注ぐことができた。 ③ キャリア教育を中心に多面的複合的な教育活動を行うことができた。 ④ いじめや不適切な言動の早期発見に努めた。 ⑤ 多忙化解消に向け、教職員の意識は格段に向上している。</p>
<p>今後の改善方策について</p>	<p>① さらなる授業改善に努め、自ら探究する姿勢を育む。 ② 校外でのマナー向上も含めて、継続的な生活指導を行う。 ③ 外部機関との連携教育をさらに進展させ、全体発表の場も設定する。 ④ 早期発見と適切な初動に努める。外部機関との連携も強化する。 ⑤ 教育職員の適切な管理等に関する指針を踏まえた働き方を推進する。</p>
<p>その他（学校関係者評価委員 から出された主な意見、要望）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高度化する情報社会を生きるための情報教育に力を入れてほしい。</li> <li>・ さらなる授業改善に努め、問題解決型の学習を取り入れ、「目標」と「振り返り」を意識した展開や板書等にも期待したい。</li> <li>・ 生徒全体が本を読む習慣のある学校にしてほしい。</li> <li>・ 国際理解コースの志望者が減っているのが気にかかるが、SDGs の取組、ニュージーランド研修など、評価できる。さらにグローバルな視野を持たせる教育をお願いしたい。</li> </ul>
<p>学校関係者評価委員会の構成 及び評価時期</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成…学校評議員 4 名、P T A 会長及び P T A 役員数名</li> <li>・ 評価時期… 1 月下旬</li> </ul>